

第2章 基本戦略

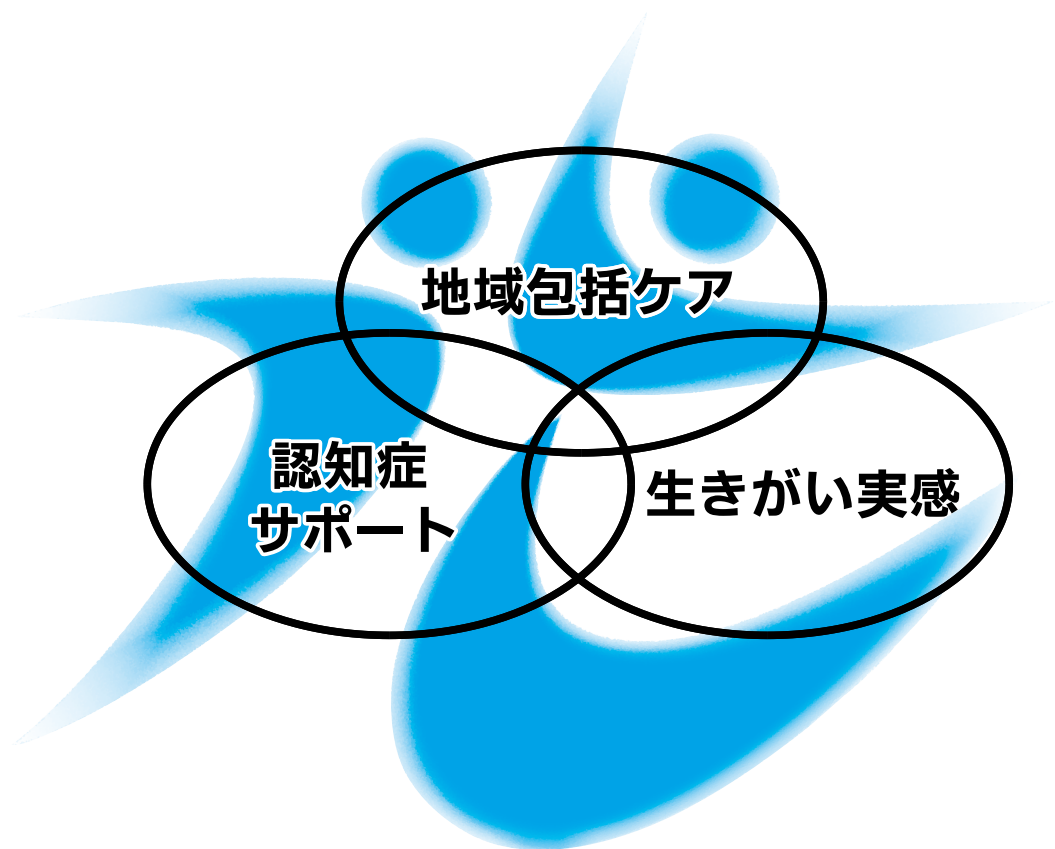
総人口が減少し、高齢化率の急激な上昇が見込まれ、社会構造の劇的な変化が予測される中、私たちが「理想社会」で暮らしていくためには、地域の一員として主体的に行動し、新たな進化に対応していくことが求められます。

さらに、現在の円熟した社会構造の中で、高齢者の理想社会を構築していくためには、地域資源の「ないものねだり」から「あるもの探し」へと意識転換を図り、本市の地域特性を最大限に生かしたまちづくりを進めていくことが求められます。

こうした中、10年後の光市が、これまで以上に市民に愛され、「住んでよかった」と評価されるまちとなるためには、光市に対する「地域住民の誇り」や「住み続けたい」という愛着や絆を大切にしながら、高齢者のニーズにふさわしいきめ細やかなサービスを提供する仕組みの強化・充実を図るとともに、それが持続可能な仕組みとなるよう、限られた時間と財源の中で、戦略的に施策を展開していくことが必要です。

このため、選択と集中の観点から、将来像である『住み慣れたまちで自分らしく生きる ～高齢者にやさしい「わ」のまちひかり～』の実現に向けて、特に優先すべき戦略的なプランを、「幸せ実感プロジェクト」として3つのプログラムを重点的に展開することにより、10年後の光市が高齢者にとって理想社会となるよう、地域の魅力を磨き、社会の課題を克服することに努め、高齢者の住みよいまちとなることを目指します。

幸せ実感プロジェクト



戦 略 1	地域包括ケアプログラム
戦 略 2	認知症サポートプログラム
戦 略 3	生きがい実感プログラム

戦略1 地域包括ケアプログラム

戦略の方針

急速な高齢化の進行に伴い、重度要介護者、認知症高齢者の増加が見込まれる中で、核家族化やライフスタイルの変化とともに、地域社会での人付き合いが希薄となり、家族介護に頼ることができない状況が数多く存在するなど、高齢者が住み慣れた地域で生活を送る際の不安要因が増えています。

このため、住み慣れた地域で、高齢者とその家族が、人間的な尊厳を保ちながら、安心して暮らすための支え合いのシステムとして、地域包括ケアシステムを構築します。

目指す社会

住み慣れた地域で、安心して暮らせる社会

個人

自宅で急に苦しくなり救急車で病院に担ぎ込まれましたが、近所のお医者さんが同乗して下さり、後遺症はほとんど残らずに済みそうです。

病院の白い天井を眺めながら、自分の将来に漠然と不安を感じていましたが、担当の先生やケアマネジャーと相談しながら、今まで通り自宅で生活できる準備ができました。

今は、一日も早く自宅へ帰るためリハビリに励んでいます。

地域

私は、夫に先立たれ、子どもたちも都会に就職したため、今は一人で暮らしています。これから先どうしたらいいものか不安な毎日を過ごしていました。でも、近所の奥さんや子どもたちがいつも声をかけてくれて、台風の時も一緒に避難してくれました。

私は、安心して暮らすことができるこのまちが大好きです。

事業所

光市で、地域包括ケアシステムが導入されて1年経ちました。

私の事業所では、利用者のかかりつけ医の協力のもと、積極的にケアカンファレンスを開催し、利用者の在宅生活の支援に努めています。

今日も、先生から医療的な指導や助言をいただく中、ケアマネと介護サービス提供事業所が、介護の目的や内容、注意点などを確認しあい、情報の共有化を図りました。

これからも、住み慣れた自宅での生活を望まれるお年寄りを、1人でも多く支えていきたいと思っています。

重点目標

1 地域包括ケア体制の整備

認知症高齢者やひとり暮らし高齢者等の増加が見込まれる中、介護保険制度に基づくケアマネジメントを基本に、医療や福祉サービスの連携はもとより、まさに点在する魅力ある地域資源を最大限活用することにより、高齢者の生活を地域で支える地域包括ケアシステムが十分に機能できるよう地域包括ケア体制の整備を推進します。

—施策の展開例—

- ①地域包括ケアシステムの調査・研究 ②介護・医療・保健・福祉の連携
③ケアマネジメント体制の機能強化 ④インフォーマルな資源の活用

2 地域生活支援体制の構築

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が継続できるよう、配食や買物、見守りなど、地域における生活支援サービスの提供に向けた体制を構築します。

また、地域住民やボランティアの幅広い参加のもと、支援を必要とするひとり暮らし高齢者等の自立や介護を支える地域福祉コミュニティの育成に努めます。

—施策の展開例—

- ①配食・買い物支援サービスの導入促進 ②高齢者の外出支援等の調査・研究
③災害時要援護者対策の強化 ④緊急通報体制の拡充
⑤地域福祉コミュニティの育成 ⑥離島支援施策の展開

3 介護サービスの充実・強化

介護を必要とする高齢者に、本人や家族の希望に応じて、多様なサービスが総合的かつ的確に提供されるよう介護サービス基盤の整備に努めます。

また、地域ケア会議や介護支援専門員連絡協議会等によりケアマネジャーをはじめ介護職員等の資質向上に努めるとともに、各種施設への実地指導の実施や介護相談員の施設への派遣等により、質の高いサービス提供体制を構築します。

—施策の展開例—

- ①介護サービス基盤の整備・充実 ②介護相談員の派遣等によるサービスの質の向上
③地域ケア会議等の開催による介護関係者の資質向上
④定期巡回・随時対応サービスをはじめとした新たな介護サービスの導入促進

重点目標※

※成果指標については、新たな指標の設定も含めて、年次的な充実を図ります。

評価する指標	現 状	目 標	
	H 23	H 26	H 32
災害時要援護高齢者の登録率※	70.8 %	85.0 %	100.0 %
介護認定者数	2,226 人	2,427 人	2,831 人

※登録率は、完全自立以外の高齢者（高齢者保健福祉実態調査より）に対する割合

戦略2 認知症サポートプログラム

戦略の方針

高齢者人口の増大に伴い、認知症高齢者の著しい増加が予測される中、認知症高齢者対策の推進は、超高齢社会における大きな課題となっています。

特に、認知症高齢者の問題は、本人のみならず家族の不安や負担は多大であり、介護者の身体的・精神的な負担の軽減が求められています。

このため、高齢者が尊厳を保ちながら、住み慣れた地域で穏やかな生活が送れるよう、地域や関係機関との連携による相談支援体制を構築するとともに、成年後見制度など、高齢者の権利擁護のための事業を展開します。

目指す社会

高齢者の尊厳が守られ、穏やかに暮らせる社会

仲間

友人に誘われて「徘徊模擬訓練」に参加しました。認知症への理解を深めるにつれて、本人や家族だけの問題ではなく、地域全体の支えが必要だとわかりました。
隣の奥さんはこのこと知っているのかな？ちょっと帰りに寄って教えてあげよう。

企業

私のお店では、市が進める「認知症サポーター養成講座」を社員教育に取り入れました。社員の認知症に対する理解も高まり、お年寄りに限らず、全てのお客さんにやさしく接することができ、お客さんからも好評です。
これからも地域に根ざしたお店として、安全で安心なまちづくりに協力したいと思っています。

地域

隣のおじいちゃんの家には、見慣れない人が上がり込んで何やら話をしています。心配になって訪ねてみると、強引に高額な健康商品を契約させられた様子。直ぐに、民生委員さんに相談し、消費生活センターと協力して、クーリングオフができたので、おじいちゃんからとても感謝されました。
いいことをすると、自分自身も幸せな気持ちを分けてもらえるんですね。

重点目標

1 認知症を予防する

健康寿命を脅かす「認知症」は、主原因の一つとして脳血管疾患が挙げられ、予防策として、運動などの生活習慣病対策が効果的であり、日頃から脳や身体を健やかに保てるよう、認知症予防に向けた主体的な参加を促進します。

また、認知症の早期発見、早期対応のため、専門家を含めた相談・支援体制を充実させ、適切な治療やサービスにつなげることができるネットワークを構築します。

―施策の展開例―

- ①健康づくり活動の推進 ②閉じこもりの防止 ③介護予防事業の展開
④総合相談体制の充実 ⑤認知症予防に関する啓発活動の推進

2 認知症を理解し、地域で支える

認知症に対する偏見や誤解により、的確な支援を受けられない高齢者も多いことから、正しい知識の普及と啓発活動を展開し、こころのバリアフリーの輪を広めます。

また、認知症高齢者が地域で安心して在宅生活を継続するため、「認知症高齢者等地域見守りネットワーク」を中心として、地域ぐるみの支援体制を構築します。

―施策の展開例―

- ①認知症高齢者等地域見守りネットワーク体制の構築
②認知症サポーターの養成 ③徘徊模擬訓練の実施
④認知症に対する正しい理解の促進

3 権利擁護体制の確立

高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を継続するために、尊厳や権利が守られるよう成年後見制度の利用促進への支援など、幅広い観点から高齢者の権利擁護に関する支援体制の拡充に努めます。

―施策の展開例―

- ①成年後見制度の活用支援 ②地域福祉権利擁護事業の活用促進
③市民後見人の育成 ④高齢者虐待の防止策等の充実
⑤消費者被害の相談体制の充実 ⑥総合相談体制の構築

成果目標※

※成果指標については、新たな指標の設定も含めて、年次的な充実を図ります。

評価する指標	現 状	目 標	
	H 23	H 26	H 32
認知症サポーター養成件数（累計）	3,750 人	5,250 人	8,250 人
総合相談件数（延人数）	1,300 人	1,400 人	1,600 人

戦略3 生きがい実感プログラム

戦略の方針

生きがいやライフスタイルの多様化により、元気で活動的な高齢者が増加しています。こうしたシニア世代のエネルギーを社会貢献につなげ、これまでの経験や知識を生かした地域活動や学習活動等を支援し、高齢者が生きがいを実感できる仕組みづくりが課題となっています。

このため、高齢者自らが充実した生活を送ることができるよう、健康づくりや介護予防に取り組むとともに、高齢者の生きがいづくりや社会活動の促進を図ります。

目指す社会

主体的に活動し、生き生きと暮らせる社会

個人・地域

これまでの生活は仕事一筋で、地域活動にほとんど顔を出しませんでした。定年退職を機に、地域への恩返しと思って、ボランティア活動に参加しました。参加するうちに、ご近所との会話も増え、同世代や若い人たちの知り合いも増えるなど、自分の活動範囲も広がり、日々の生活にも活気が生まれました。

来週は、地域の仲間とお花見を予定していて、今からとても楽しみです。

家庭

健康診断で、生活習慣の改善が必要と指摘されたので、妻の勧めで運動教室に参加することにしました。

最初はおっくうでしたが、参加してみたら新しい友達もでき、一人じゃないから楽しく続けられそうです。そうだ、来週は妻を誘って参加してみようかな。

行政

私は、老人クラブが行う運動会に初めて協力することとなり、不安だらけでしたが、参加された高齢者の方のご協力もあり、無事に終えることができました。

帰り際に「今日は楽しかったよ、ありがとう」とねぎらいの言葉をかけてもらい、充実感を味わうとともに、今後の活動への自信が持てた気がします。

これからも、お年寄りが、元気に生き生きと暮らせるまちを目指して頑張っていきます。

重点目標

1 生きがいづくりの促進

豊かな経験や知識を有している高齢者が、地域社会の担い手として、地域づくりやボランティア活動、さらには就労の促進など、生きがいを持ちながら、積極的かつ有意義な人生を送れるよう、社会参加への支援を行うとともに、老人クラブ等への活動支援などを展開します。

—施策の展開例—

- ①老人クラブ活動への支援 ②高齢者の就労促進 ③世代間交流の推進
- ④地域づくりやボランティア活動など高齢者の社会参加の促進
- ⑤高齢者の生きがい活動への参加促進

2 健康づくりの推進

高齢期の健康の保持増進・健康づくりに向けて、生活習慣病などの疾病や健康づくりに関する知識の普及啓発や、がん検診をはじめ各種健診等を実施し疾病の予防・早期発見を図るなど、健康的な生活の実現を図ります。

—施策の展開例—

- ①健康づくりの推進 ②生活習慣病の予防 ③各種検診の充実
- ④歯の健康づくりの促進 ⑤食生活の改善
- ⑥憩いの家の活用促進 ⑦三島温泉健康交流施設の整備と利用促進

3 介護予防事業の充実

高齢者の閉じこもりを防止するとともに、高齢者に対する転倒予防、認知症予防など、身体機能の維持・改善に向けた取組みを拡充し、介護予防に関する知識の普及・啓発や地域における自主的な介護予防活動の育成・支援を行うなど、介護予防事業の充実を図ります。

—施策の展開例—

- ①転倒骨折予防教室や介護予防生きがいデイサービスの充実
- ②運動器機能向上対策の充実 ③地域ふれあいサロン活動への支援
- ④口腔機能の向上 ⑤介護予防研修会や出前講座の充実

成果指標※

※成果指標については、新たな指標の設定も含めて、年次的な充実を図ります。

評価する指標	現 状	目 標	
	H 23	H 26	H 32
老人クラブ加入者数	3,816 人	4,200 人	4,700 人
介護予防事業の参加者※	315 人	380 人	450 人

※転倒骨折予防教室、介護予防生きがいデイサービス、運動器機能向上等事業の参加者の合計

高齢者の理想社会実現へのアプローチ

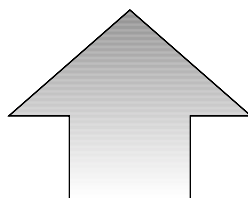
理想とする10年後の光市

計画の将来像 住み慣れたまちで自分らしく生きる
～高齢者にやさしい「わ」のまちひかり～

基本姿勢



施策の展開 I 第5期介護保険事業
II 高齢者保健福祉施策



基本戦略

幸せ実感プロジェクト

戦略1

地域包括ケア
プログラム

戦略2

認知症サポート
プログラム

戦略3

生きがい実感
プログラム

第5期介護保険事業

高齢者保健福祉施策

計画の推進

1 介護サービス見込み量設定の考え方

1 施設・居住系サービス量推計の考え方
(1)施設・居住系サービスの目標値（参酌標準）について
(2)施設・居住系サービス量（利用者数）の推計方法

2 居宅サービス量推計の考え方
(1)居宅サービスの利用対象者数及び受給者の推計
(2)居宅サービス量（利用者数）の推計方法

3 介護サービス種類ごとの給付費推計の考え方

2 介護保険給付対象サービスの見込み

1 居宅介護（介護予防）支援

2 居宅（介護予防）サービス
(1)訪問介護（ホームヘルプサービス）
(2)訪問入浴介護
(3)訪問看護
(4)訪問リハビリテーション
(5)通所介護（デイサービス）
(6)通所リハビリテーション（デイケア）
(7)短期入所生活介護（ショートステイ）
(8)短期入所療養介護（ショートステイ）
(9)居宅療養管理指導
(10)特定施設入居者生活介護
(11)福祉用具貸与
(12)特定福祉用具販売
(13)住宅改修

3 地域密着型（介護予防）サービス
(1)認知症対応型通所介護
(2)小規模多機能型居宅介護
(3)認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）
(4)地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
(5)定期巡回・随時対応型訪問介護看護
(6)夜間対応型訪問介護
(7)地域密着型特定施設入居者生活介護
(8)複合型サービス

4 施設サービス
(1)介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
(2)介護老人保健施設（老人保健施設）
(3)介護療養型医療施設

3 地域支援事業の見込み

1 介護予防事業（介護予防特定高齢者施策）
(1)特定高齢者把握事業
(2)通所型介護予防事業
(3)訪問型介護予防事業

2 介護予防事業（介護予防一般高齢者施策）
(1)介護予防普及啓発事業
(2)地域介護予防活動支援事業

3 包括的支援事業
(1)地域包括支援センター
(2)介護予防ケアマネジメント事業
(3)総合相談事業
(4)権利擁護事業
(5)包括的・継続的ケアマネジメント事業

4 任意事業
(1)介護給付等費用適正化緊急対策事業
(2)家族介護支援事業
(3)成年後見制度利用支援事業
(4)住宅改修支援事業
(5)地域自立生活支援事業

4 介護保険事業費見込み及び介護保険料の算定

1 介護保険料の推計にあたって
(1)介護保険事業の財源構成
(2)介護報酬の改定
(3)介護保険料引き上げの抑制策
(4)介護保険料段階の見直し

2 介護保険事業の総費用額の見込み
(1)介護サービスの総給付費の見込額
(2)その他給付額等の見込額
(3)地域支援事業費の見込額
(4)介護保険事業の総費用の見込額（まとめ）

3 第1号被保険者の介護保険料
(1)第5期介護保険料基準額の算出
(2)第5期介護保険料の所得段階設定

5 介護保険事業の円滑・適正な推進

1 介護保険サービスの円滑・適正な推進
(1)円滑・適正な要介護認定の実施
(2)地域密着型サービスの推進
(3)福祉用具・住宅改修サービスの適正な提供
(4)離島利用者負担対策事業
(5)介護保険制度の普及啓発と情報提供
(6)個人情報の保護

2 低所得者対策の推進
(1)介護保険料の減免
(2)利用者負担の軽減

1 健康づくり環境の創出

1 健康づくりの推進

2 保健事業の充実
(1)骨粗鬆症検診
(2)歯周疾患検診

3 食育の推進

2 高齢者の生活支援関連事業の推進

1 高齢者生活支援施策等
(1)寝具乾燥消毒サービス事業
(2)在宅寝たきり老人リフト付きタクシー助成事業
(3)牛島慰いの家デイサービス事業
(4)生活支援訪問サービス事業（軽度生活支援事業）
(5)訪問理美容サービス事業
(6)日常生活用具給付サービス事業

3 防災・安全対策の確立

1 救急・防災対策
(1)緊急通報体制整備事業
(2)災害時要援護高齢者への支援

2 交通安全対策

3 防犯・消費者問題対策

4 高齢者の生活環境の整備

1 多様なニーズに対応した居住関係施策の推進
(1)高齢者居住関係施設
(2)高齢者の住宅整備及び改修に関する支援

2 生活環境の整備
(1)ユニバーサルデザインのまちづくり
(2)公園整備と緑化の推進
(3)市民・事業者の協力

5 生涯現役社会づくりの推進

1 高齢者の社会参加と就労促進
(1)高齢者の社会参加の促進
(2)高齢者の就労促進

2 高齢者の生きがい・健康づくりの推進
(1)趣味・スポーツ・学習機会の拡大
(2)世代間交流の推進
(3)憩いの家の活用の促進
(4)ことぶき教室

6 地域における高齢者の支援体制の充実

1 相談体制の充実

2 市民相互で支え合う地域福祉の推進
(1)社会福祉協議会との連携・協働
(2)民生委員・児童委員協議会との連携
(3)要援護高齢者家族会等への支援
(4)ボランティア・NPO活動の促進

3 離島における支援施策の充実
(1)牛島への介護サービス提供に係る交通費等の助成
(2)牛島診療所の医療機能の確保
(3)救急搬送体制の確保

4 高齢者等への支援とケア体制確立の推進
(1)権利擁護の視点に立った支援体制の確立
(2)高齢者のひとり世帯等へのケアと絆意識の醸成

1 計画の推進

1 市民参加の促進
(1)市民参加の促進
(2)地域福祉活動の推進

2 連携体制の強化
(1)保健・医療・福祉の連携
(2)高齢者保健福祉ニーズへの総合的な対応

2 計画の点検・検証

1 第5期計画のメンテナンス（改善行動）

2 計画のリニューアル（進化行動）

3 計画の点検・検証体制